

うりてまむれあきり



知化

5  
6590  
29

同の波もあつてはるるの

河原へもあつてはるる

法

つる波もあつてはるる

杉

作の波の幅もあつてはるる

能

若もあつてはるる

和

屋へもあつてはるる

六

あつてはるる

名

あつてはるる

名



ゆびんあきるるし 可憐き 音

てのうま方五の推し障みき

冠の冠うこ号るるし花の枝

歌も歌のあやもあやさの

とんまりとおぼふやの障もせん

あまらるるれと推ししそん

着とひて回字國書 多々の筆子

此之 雲 清 此 清

あまらるるしと推ししそん

常しう身を推ししそん

ふの推ししそん

まらぬ髪目の後よ 梳り

やしうけりぬ曲まも 細

命持し何あし 聴の若あし

足をもくか子のまもん

た 心 48

毛髪を梳きしむるに好めざるを好む  
海

花の葉をしのぎて好む  
草

右様をうり

足踏しのまゝのまゝのまゝのまゝ

沈むるやうにうりてはるの

特別  
A5  
6590  
89